

マタイ 12:36 わたしはあなたがたに、こう言いましょう。人はその口にするあらゆるむだなことばについて、さばきの日には言い開きをしなければなりません。 12:37 あなたが正しいとされるのは、あなたのことばによるのであり、罪に定められるのも、あなたのことばによるのです。」

### マタイ 12章 36節～37節

- 私たちが口にする事ばについて、さばきの日に言い開きをする。
- 正しいとされるのも、罪に定められるのも、私たちのことばによる。

私たちのことばが、私たちの生死に関わり、永遠に影響をおよぼすことになる。

箴言 13:3 自分の口を見張る者は自分のいのちを守り、くちびるを大きく開く者には滅びが来る。  
箴言 18:21 死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。

### 誰かに対して「怒り」を持ってしまったら：

エペソ 4:26 怒っても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで憤ったままでいてはいけません。

神様は怒ってはいけないとおっしゃらず、憤ったままではいけないとされています。そのためには、ダビデが主に訴えたように、私たちの全てをご存じのイエス様に状況を訴えることで、その怒りを手放すことができます。

### 誰かのことばに傷つかないために：

伝道者 7:21 人の語る事ばにいちいち心を留めてはならない。

たとえ伝道して誰かに馬鹿にされて、悪口を言われても天国での報いのゆえに喜び、踊りなさいとあります。参：マタイ 5:11～12

### 誰のことばを私たちの心に入れますか？

箴言 4:20 わが子よ。私のことばをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。 4:21 それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。 4:22 見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。 4:23 力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。

### 応用

1. 私たちは日々どんなことばを耳に入れているか？ ネット、人の言うこと、神様のことば？
2. 私たちは何を語っていますか？ 不平不満、悪口それとも神様のみことばですか？
3. 過去に人から受けたことばによって、傷があるなら、イエス様に手渡ししましょう。
4. 自分のことばによって人を傷つけたならば謝り、和解をもとめましょう。
5. 神様のことばを心に蓄えて、保っていきましょう。